

建設業 K Y T シート

No. 8 積載型トラッククレーンによる仮設道路の鉄板敷設作業

どんな危険がありますか？

あなたならどうしますか？



作業の状況

仮設道路に建設機械（積載型トラッククレーン）で、鉄板を敷く作業をしています。

建設業労働災害防止協会

整理番号	8	業種	造園工事	作業の種類	仮設道路の鉄板敷設作業	災害の種類	挟まれ・転倒 飛来落下
1 作業状況							
積載型トラッククレーンによる仮設道路の鉄板敷設作業							
2 予想される危険							
<ol style="list-style-type: none"> 鉄板を一本吊りで吊り上げたため、鉄板が揺れて作業員に当たる。 鉄板を吊り上げた際、玉掛けワイヤロープが切れて鉄板が作業員に当たる。 鉄板敷設作業中、合図方法が悪かったため作業員が鉄板に挟まれる。 アウトリガーを張り出していないので、積載型トラッククレーンがバランスを崩して転倒し、作業員が下敷きになる。 							
3 安全対策・事前処置						関係条文	
<ol style="list-style-type: none"> かいしゃくロープで荷を誘導する。 玉掛けワイヤロープは、損傷あるものは使用しない。 一定の合図に従って作業をして、吊り荷の下には入らない。 アウトリガーは両側とも最大に張り出し、張り出す箇所は平坦で十分な強度のあるところとし、軟弱な地盤等の箇所では、敷鉄板・敷板等を使用する。 <p>※前方吊りの時は定格荷重が4分の1になるので、吊り荷の荷重を確認する。</p>						<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン則70条の3 ・クレーン則第70条の4 ・クレーン則第70条の5 ・クレーン則第71条 ・クレーン則第215条 	